

計画作成年度	平成 26 年度
計画主体	豊田市

豊田市鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名	豊田市産業部農政課
所在地	愛知県豊田西町 3 - 6 0
電話番号	0565-34-6640
F A X 番号	0565-33-8149
メールアドレス	nousei@city.toyota.aichi.jp

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	<p>【獣類】 タヌキ、キツネ、アナグマ、アライグマ、ハクビシン、イノシシ、ニホンジカ、ヌートリア、ノウサギ、ニホンカモシカ、ニホンザル</p> <p>【鳥類】 カワウ、ゴイサギ、カルガモ、キジ、キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、ダイサギ</p> <p>(以下、ニホンジカを「シカ」、ニホンザルを「サル」、ニホンカモシカを「カモシカ」、カワラバト及びキジバトを「ハト」、ゴイサギ及びダイサギを「サギ類」、ハシボソガラス及びハシブトガラスを「カラス」という。)</p>
計画期間	平成26年度～平成28年度
対象地域	豊田市

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状 (平成24年度)

市内農家へのアンケート調査より作成

鳥獣の種類 (獣類)	被害の実績	
	品 目	被害数値(被害金額・面積)
タヌキ	茶	561千円 0.11ha
	イチジク	—千円 —ha
	ナス	224千円 0.02ha
	水稲	49千円 0.05ha
	カキ	—千円 —ha
	トマト	81千円 0.01ha
	その他	161千円 0.10ha
	計	1,076千円 0.29ha
アライグマ	水稲	19千円 0.02ha
	スイカ	72千円 0.03ha
	トマト	81千円 0.01ha
	キュウリ	69千円 0.01ha
	カキ	42千円 0.01ha
	その他	347千円 0.08ha
	計	630千円 0.16ha

ハクビシン	トマト	1,613千円	0.20ha
	イチジク	924千円	0.07ha
	サツマイモ	50千円	0.05ha
	トウモロコシ	253千円	0.23ha
	ナス	785千円	0.08ha
	その他	2,904千円	1.28ha
	計	6,529千円	1.91ha
イノシシ	水稲	16,653千円	17.34ha
	タケノコ	4,214千円	3.63ha
	サツマイモ	2,173千円	2.15ha
	トマト	646千円	0.09ha
	ジャガイモ	1,067千円	0.53ha
	茶	4,233千円	0.82ha
	その他	21,086千円	9.42ha
	計	50,072千円	33.98ha
シカ	水稲	565千円	0.59ha
	シイタケ	124千円	0.02ha
	小豆	196千円	0.07ha
	大豆	27千円	0.12ha
	カボチャ	—千円	—ha
	その他	1,686千円	0.40ha
	計	2,598千円	1.20ha
ヌートリア	ナス	112千円	0.01ha
	イチジク	—千円	—ha
	水稲	239千円	0.24ha
	スイカ	24千円	0.01ha
	その他	0千円	0.11ha
計	375千円	0.37ha	
カモシカ	カボチャ	—千円	—ha
	水稲	126千円	0.12ha
	その他	112千円	0.04ha
計	238千円	0.16ha	
サル	ナシ	—千円	—ha
	カキ	63千円	0.03ha
	シイタケ	186千円	0.02ha
	トウモロコシ	44千円	0.03ha
	その他	341千円	0.25ha
計	634千円	0.33ha	
その他獣類 (キツネ、アサギマ、ウサギ等)	—	514千円	3.09ha
獣類 計	—	62,666千円	41.49ha

鳥獣の種類（鳥類）	被害の実績	
	品目	被害数値(被害金額・面積)
カルガモ	水稲	164千円 0.16ha
ハト	大豆	85千円 0.40ha
	水稲	47千円 0.04ha
	その他	95千円 0.04ha
	計	227千円 0.48ha
ヒヨドリ	イチジク	792千円 0.06ha
	キャベツ	350千円 0.13ha
	モモ	308千円 0.05ha
	トマト	81千円 0.01ha
	その他	1,094千円 0.50ha
	計	2,625千円 0.75ha
スズメ	水稲	4,085千円 4.25ha
	麦	240千円 1.15ha
	イチジク	132千円 0.01ha
	その他	262千円 0.06ha
	計	4,719千円 5.47ha
ムクドリ	ブドウ	306千円 0.04ha
	イチジク	132千円 0.01ha
	その他	159千円 0.12ha
	計	597千円 0.17ha
カラス	ナシ	4,434千円 0.47ha
	スイカ	2,914千円 1.20ha
	トマト	2,176千円 0.27ha
	ブドウ	1,532千円 0.20ha
	モモ	1,415千円 0.23ha
	カキ	1,395千円 0.67ha
	イチジク	792千円 0.06ha
	水稲	768千円 0.78ha
	ナス	448千円 0.04ha
	その他	1,607千円 0.98ha
	計	17,481千円 4.90ha
その他鳥類 (キジ、鶉、カウ類等)	—	1,985千円 0.33ha
鳥類 計	—	27,798千円 12.26ha
合計	—	90,464千円 53.75ha

(2) 被害の傾向（過去5年間の被害調査結果による評価）

豊田市における獣類と鳥類による被害金額の割合は約7：3となっており、獣類による被害の割合が高い。

獣類では、依然としてイノシシによる被害が深刻であるが、平成22年をピークに被害は減少し、平成23年から平成24年にかけては横ばいである。

また、シカによる被害が農山村地域の松平、下山地区などで増加している。

なお、ハクビシンやアライグマなどの小獣類による被害金額は、平成22年をピークに減少傾向にある。

一方、鳥類では、平地地域を中心に水稻、果樹、野菜類の被害が発生しており、平地地域、農山村地域ともに増加している。

《鳥獣別の被害傾向》

【タヌキ】

被害金額は、平成21年をピークに減少傾向であったが、平成24年に増加し、これまで被害の無かった地区や被害が無くなった地区でも再び被害が発生した。捕獲頭数は増加傾向にあり、平成20年から市内全域で出没が確認されているため、これまで被害の無かった地区でも被害が発生する恐れがある。

【キツネ】

平成20年からの被害調査では、農作物被害の報告はなかった。捕獲頭数については、平成23年度以降の実績はない。

【アナグマ】

被害は平成22年に報告があった以降は無い。しかし農山村地域では、出没が確認されており、平成23年度以降は捕獲実績がある。このため、今後、農山村地域では被害が発生する恐れがある。

【アライグマ】

被害金額は、平成20年から増加し平成23年には約10倍にまで増加したが、その後は減少傾向にある。被害区域は、猿投地区周辺で多く発生しており、農作物被害のみならず住宅に侵入するなどの生活環境被害も発生している。また、市内全域で出没しており、これまで被害の無かった地区でも被害が発生する恐れがある。

【ハクビシン】

被害金額は、平成22年をピークに減少傾向にあり、平成24年はピーク時の約4割にまで減少した。被害作物は、トマトやナスなどの野菜類が中心でブドウやイチジクなどの果樹類、水稻でも被害が発生しており、範囲は市内全域に及んでいる。捕獲頭数は増加傾向にあり、平成24年度は平成20年度に比べて約10倍以上増加した。

【イノシシ】

被害金額は、平成20年から増加し平成22年には3倍近くにまで達したが、平成23年には5割近くにまで減少し、横ばいで推移している。また、イノシシの捕獲頭数は平成20年度に比べ平成24年度は3倍以上に増加した。被害作物は、水稻が中心であるが、ほぼ全ての作物で被害が報告されている。被害区域は、農山村地域が中心であるが、里山地域にも及んでおり、今後、平地地域まで被害が拡大する恐れがある。

【シカ】

被害金額は、平成21年に減少したが、平成22年からは増加傾向にあり、平成24年には、平成21年の約2.5倍に増加している。捕獲頭数は増加傾向にあり平成24年は、平成20年の約3倍に増加した。被害区域は、下山地区を中心とした農山村地域であり、被害の無い地区でもシカが出没しているため、被害区域が拡大する恐れがある。

【ヌートリア】

被害金額は、平成21年をピークに減少傾向にあり、平成24年はピーク時の約5分の1まで減少した。捕獲頭数も平成20年度をピークに減少している。被害作物は、平成21年までは野菜類やイチジクが中心であったが、平成22年以降は水稻が中心で上郷、高岡地区などの平地地域で多く発生している。

【ノウサギ】

被害は、平成22年まで大豆、ダイコンやハクサイなど農山村地域で発生していたが、平成23年以降は被害の報告はない。しかし、捕獲頭数は平成24年度に増加しており、今後、農山村地域では被害が発生する恐れがある。

【カモシカ】

被害金額は、平成22年をピークに減少傾向にある。被害区域は農山村地域であり、平成24年には下山地区及び稲武地区で被害が発生している。

【サル】

被害金額は、平成20年から増加し平成23年には約3倍にまで増加したが、平成24年に減少した。平成24年は、猿投地区や高橋地区などで人家に侵入するなどの被害が発生し、被害区域が平地にまで拡大しつつある。農作物被害のみならず生活環境被害が発生する恐れがある。

【サギ類】

被害は、平成23年に平地地域に集中して発生したが、平成24年は被害の報告はない。被害作物は水稻がほとんどであり、野菜類やイモ類でも被害が報告されている。また、捕獲頭数は増加している。

【カルガモ】

被害金額は、平成21年をピークに減少傾向にあり、平成24年はピーク時の約10分の1まで減少した。被害作物は、水稲であるが平成23年からはスイカへの被害が報告されている。被害区域は平地地域で、平成23年までは高岡地区が中心であったが、平成24年は猿投地区が中心であった。また、捕獲頭数は増加傾向にある。

【キジ】

被害金額は、増加傾向にあり過去5年間で約2倍に増加している。被害作物はイチジクやカキなどの果樹類、スイカやナスなどの野菜類であるが、水稲、豆類、イモ類でも被害が報告されている。被害区域は平地地域である。また、捕獲頭数は10羽前後で横ばいである。

【ハト】

被害金額は、平成21年をピークに減少傾向にあり、平成24年はピーク時の10分の1以下まで減少した。被害作物は、大豆、水稲が中心であるが、イチジクなどの果樹類でも被害が報告されている。被害区域は平地地域が中心である。捕獲頭数は、平成20年度をピークに減少している。

【ヒヨドリ】

被害金額は、平成23年まで減少傾向であったが、平成24年は増加した。被害作物は、イチジクやモモなどの果樹類、キャベツやトマトなどの野菜類であり平地地域を中心に被害が発生している。捕獲頭数は、平成23年度までは減少傾向であったが平成24年度は、平成23年度に比べて約5倍に増加した。

【スズメ】

被害金額は、平成20年をピークに横ばいであったが、平成23年に減少し平成24年は、ピーク時の約半分まで減少した。被害作物は水稲が中心であり、麦、大豆、果樹類でも被害が報告されている。被害区域は平地地域が中心であるが、市内のほぼ全域に及んでいる。捕獲頭数は、平成21年度をピークに減少している。

【ムクドリ】

被害金額は、平成21年をピークに減少傾向にあり、平成24年はピーク時の約10分の1まで減少した。被害作物は、ブドウやイチジクなどの果樹類が中心でキャベツやハクサイなどの野菜類でも被害が報告されている。被害区域は平地地域であり、捕獲頭数は増加傾向にある。

【カラス】

被害金額は、平成21年をピークに減少し、平成24年はピーク時の約6割まで減少した。被害作物はナシやブドウなどの果樹類、スイカやトマトなどの野菜類が中心で、被害は市内の全域に及んでおり、鳥類では被害金額が最も多

い。捕獲頭数は、平成23年度までは増加傾向であったが平成24年度は減少した。

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値（平成24年度）	目標値（平成28年度）
タヌキ	1,076千円 0.29ha	459千円 0.11ha
アライグマ	630千円 0.16ha	630千円 0.16ha
ハクビシン	6,529千円 1.91ha	6,529千円 1.76ha
イノシシ	50,072千円 33.98ha	9,486千円 5.76ha
シカ	2,598千円 1.20ha	972千円 1.09ha
ヌートリア	375千円 0.37ha	375千円 0.37ha
カモシカ	238千円 0.16ha	238千円 0.16ha
サル	634千円 0.33ha	437千円 0.19ha
その他獣類 (キツネ、アゲマ、ウサギ等)	514千円 3.09ha	112千円 0.61ha
カルガモ	164千円 0.16ha	164千円 0.16ha
ハト	227千円 0.48ha	209千円 0.29ha
ヒヨドリ	2,625千円 0.75ha	2,625千円 0.69ha
スズメ	4,719千円 5.47ha	4,719千円 5.32ha
ムクドリ	597千円 0.17ha	597千円 0.17ha
カラス	17,481千円 4.90ha	13,776千円 3.27ha
その他鳥類 (キジ、雉、カウ類等)	1,985千円 0.33ha	1,084千円 0.33ha
合 計	90,464千円 53.75ha	42,412千円 20.44ha

<被害金額算出方法>

平成24年度 被害面積(ha) × 作物別単収 (t/ha) × 作物単価 (千円/t)

(4) 従来講じてきた被害防除対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合等による集落ぐるみの捕獲対策に対するおり等の資材の導入支援 ・市及び関係機関が市内猟友会への駆除委託等により銃器とわなによる捕獲 ・農事組合長等から推薦を受けた新規銃・網・わな猟獣免許取得者を対象に、免許取得の経費を補助 ・駆除員を対象とした捕獲技術向上研修会の開催による捕獲技術の向上 ・農事組合へのおりの見回り等に対する捕獲奨励金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲の担い手の高齢化 ・猟友会と地域との連携体制の構築 ・新規狩猟免許取得者の捕獲技術の向上
防護柵の設置等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個人又は3戸以上の組織に対する侵入防止柵資材の購入補助 ・農事組合等による集落ぐるみの鳥獣害対策に対する侵入防止柵整備の支援 ・農事組合等による環境整備(緩衝帯)に対する補助 ・センサーカメラによる鳥獣の生息行動調査 ・エアガンによるサルの追い払い 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な、侵入防止柵の設置方法の指導 ・侵入防止柵設置後の適切な管理 ・被害防除対策が困難な鳥獣への対策
その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合単位での学習会開催による集落ぐるみの鳥獣害対策の促進 ・関係機関職員に対する研修会の開催及び先進地視察による知識向上 ・「豊田いのしし通信」の定期発行による情報提供 ・農家を対象とした鳥獣被害アンケートによる調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合単位での鳥獣害対策の取組に必要な学習会の開催回数、内容の充実 ・より実態に近い被害数値を把握するため、アンケート回収率の向上

(5) 今後の取組方針

①捕獲等に関する取組

【目的】

有害鳥獣の継続的な捕獲により、鳥獣の個体数を適正に管理する。

【事業概要】

- ・集落ぐるみによる捕獲おりの設置支援
- ・捕獲おりの貸出し
- ・鳥獣専門員による捕獲効率向上のための捕獲おりの点検や管理指導
- ・猟友会への有害鳥獣駆除等委託
- ・集落ぐるみによる有害鳥獣の捕獲協力・処分への支援
- ・集落内で駆除員として活動するため猟免許取得にかかる経費の補助
- ・駆除員の捕獲技術向上を図るための研修会の開催

②防護柵の設置等に関する取組

【目的】

侵入防止柵整備及び環境整備等を支援し、農作物等被害の軽減を図る。

【事業概要】

- ・集落ぐるみによる侵入防止柵整備の支援
- ・緊急対応するため、個人又は3戸以上の組織に対する侵入防止柵資材の購入補助
- ・鳥獣専門員による侵入防止柵の機能発揮のため、設置方法や管理指導
- ・集落ぐるみによる緩衝帯整備（下草・藪の刈払、雑木林の伐採、放任果樹の除去等）にかかる経費の補助
- ・農地や農地周辺の環境管理及びゴミステーションの適正管理を徹底するよう集落への啓発
- ・センサーカメラにより撮影した野生獣の行動を分析し、獣害対策に役立つ情報として集落に発信
- ・エアガンによるサルの追い払い

③その他の取組

ア：体制の構築

【目的】

鳥獣害対策に必要な人材を育成し、より効果的な対策を講じる。

【事業概要】

- ・市農政課、農業協同組合、県普及課職員への鳥獣に対する知識向上を図る研修会の開催
- ・侵入防止柵の効果的な設置や管理方法に関する農家の知識向上を図る研修会の開催
- ・研修会、先進地視察による職員等の知識向上

イ：普及・啓発活動

【目的】

鳥獣害に関する情報を把握し、鳥獣害対策に活用するとともに、必要な情報を集落等に発信する。

【事業概要】

- ・鳥獣被害アンケート調査による正確な被害状況の把握
- ・市の広報紙、ホームページを活用した情報提供
- ・「豊田いのしし通信」を活用した農家への情報提供

- ・集落学習会の開催支援（講師派遣、資料提供等）

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

- ・豊田市は、農事組合等からの有害鳥獣駆除依頼を受け、市内猟友会への有害鳥獣駆除委託により捕獲を実施する。
- ・農家等の地域における捕獲の担い手を育成することにより、地域における継続的な捕獲体制を確保するため、狩猟免許取得に必要な経費を補助する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
26	タヌキ、キツネ、アナグマ、アライグマ、ハクビシン、イノシシ、シカ、ヌートリア、ノウサギ、カモシカ、サル、カワウ、ゴイサギ、カルガモ、キジ、キジバト、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、カラス、カワラバト、ダイサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲おり（箱わな）の導入を支援することにより、地域での捕獲活動を促進する。 ・地域の実情に応じ、ツキノワグマが脱出できる捕獲おりの導入を考慮する。
27		<ul style="list-style-type: none"> ・小獣用の捕獲おりを駆除依頼者に貸し出す。 ・捕獲技術向上のための研修会を実施する。 ・「豊田いのしし通信」の発行により、効果的な捕獲技術等の情報を農家等へ提供する。
28		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣専門員による捕獲おりの設置点検や捕獲のための技術的な支援を行う。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

【タヌキ】

捕獲頭数は、平成23年度に43頭、平成24年度に142頭であった。旧市内平地地域の上郷地区や農山村地域の足助地区を中心に茶、野菜の被害があるため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ150頭とし、平成28年度も同数とする。

【キツネ】

捕獲頭数は、平成23年度、平成24年度とも実績はない。平成26年度から平成28年度までの捕獲計画は未定であるが、農作物被害の状況に応じ捕獲計画数を定める。

【アナグマ】

捕獲頭数は、平成23年度に11頭、平成24年度に28頭であった。農山村地域を中心に、野菜に被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ50頭とし、平成28年度も同数とする。

【アライグマ】

捕獲頭数は、平成23年度に48頭、平成24年度に89頭であった。農作物被害は、旧市内平地地域は減少したが、農山村地域では増加し、果樹や野菜などに被害が発生している。このため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ100頭とし、平成28年度も同数とする。

【ハクビシン】

捕獲頭数は、平成23年度に63頭、平成24年度に146頭であった。野菜、果樹の被害が市内全域で発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ200頭とし、平成28年度も同数とする。

【イノシシ】

豊田市においては、平成23年度に1,838頭、平成24年度に2,557頭を捕獲したが、農作物の被害金額は横ばいであった。このため、里地に出没するイノシシは、全頭捕獲することとし、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ4,200頭とし、平成28年度も同数とする。

【シカ】

豊田市においては、平成23年度に16頭、平成24年度に20頭を捕獲した。農作物の被害金額は増加傾向にあるため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ200頭とし、平成28年度も同数とする。

【ヌートリア】

豊田市においては、平成23年度に2頭、平成24年度に10頭を捕獲した。旧市内平地地域を中心に水稻、野菜の被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ50頭とし、平成28年度も同数とする。

【ノウサギ】

豊田市においては、平成23年度に1頭、平成24年度に3頭を捕獲した。平成23年度、平成24年度ともに農作物被害の報告はないが、被害の発生が予測されるため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ10羽とし、平成28年度も同数とする。

【カモシカ】

豊田市においては、捕獲は行っていない。平成26年度から平成28年度までの捕獲計画は未定であるが、農作物被害が発生しているため、被害状況に応じ、実施計画の策定により捕獲計画数を定める。

【サル】

豊田市においては、平成23年度は、捕獲実績はなかったが、平成24年度に1頭

を捕獲した。しかし、農作物被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ85頭とし、平成28年度も同数とする。

【カワウ】

豊田市においては、平成26年度から平成28年度までの捕獲計画は未定であるが、農作物被害の状況に応じ捕獲計画数を定める。

【ゴイサギ】

豊田市においては、平成23年度、平成24年度の捕獲実績はない。しかし、旧市内平地地域で水稲、農山村地域では野菜などで被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ20羽とし、平成28年度も同数とする。

【カルガモ】

豊田市においては、平成23年度に27羽、平成24年度に37羽を捕獲した。旧市内平地地域を中心に、水稲の被害が発生しており、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ100羽とし、平成28年度も同数とする。

【キジ】

豊田市においては、平成23年度は10羽、平成24年度に9羽を捕獲した。旧市内平地地域で、野菜、果樹を中心に被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ15羽とし、平成28年度も同数とする。

【キジバト】

豊田市においては、平成23年度に371羽、平成24年度に583羽を捕獲した。市内農山村地域を中心に豆類、麦、野菜に被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ803羽とし、平成28年度も同数とする。

【ヒヨドリ】

豊田市においては、平成23年度に133羽、平成24年度に698羽を捕獲した。旧市内平地地域を中心に果樹、野菜などに被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ350羽とし、平成28年度も同数とする。

【スズメ】

豊田市においては、平成23年度に433羽、平成24年度に284羽を捕獲した。旧市内平地地域を中心に市内全域で水稲、麦、果樹などに被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ

れ1,418羽とし、平成28年度も同様とする。

【ムクドリ】

豊田市においては、平成23年度に127羽、平成24年度に374羽を捕獲した。旧市内平地地域で、果樹、野菜に被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ350羽とし、平成28年度も同数とする。

【カラス】

豊田市においては、平成23年度に1,230羽、平成24年度に974羽を捕獲した。市内全域で、果樹・野菜を中心に作物全般に被害が発生しており、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ1,845羽とし、平成28年度も同数とする。

【カワラバト】

豊田市においては、平成23年度に276羽、平成24年度に247羽を捕獲した。旧市内平地地域を中心に豆類、麦、野菜などに被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ414羽とし、平成28年度も同数とする。

【ダイサギ】

豊田市においては、平成23年度に6羽、平成24年度に10羽を捕獲した。旧市内平地地域で水稲、農山村地域では野菜などで被害が発生しているため、平成26年度、平成27年度の捕獲計画数は、豊田市緊急捕獲等計画に基づきそれぞれ20羽とし、平成28年度も同数とする。

対象鳥獣	捕獲計画数等（狩猟を除く）		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
タヌキ	150頭	150頭	150頭
キツネ	未定	未定	未定
アナグマ	50頭	50頭	50頭
アライグマ	100頭	100頭	100頭
ハクビシン	200頭	200頭	200頭
イノシシ	4,200頭	4,200頭	4,200頭
シカ	200頭	200頭	200頭
ヌートリア	50頭	50頭	50頭
ノウサギ	10羽	10羽	10羽
カモシカ	未定	未定	未定

サル	85頭	85頭	85頭
カワウ	未定	未定	未定
ゴイサギ	20羽	20羽	20羽
カルガモ	100羽	100羽	100羽
キジ	15羽	15羽	15羽
キジバト	803羽	803羽	803羽
ヒヨドリ	350羽	350羽	350羽
スズメ	1,418羽	1,418羽	1,418羽
ムクドリ	350羽	350羽	350羽
カラス	1,845羽	1,845羽	1,845羽
カワラバト	414羽	414羽	414羽
ダイサギ	20羽	20羽	20羽

捕獲等の取組内容
・捕獲おり及び銃により、有害鳥獣捕獲が可能な期間に、農作物被害が発生している地域を中心に捕獲を行う。

(4) 許可権限委譲事項(該当なし)

対象地域	対象鳥獣
	*既に委譲済み

4. 防護柵の設置、その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
イノシシ	電気柵及びワイヤーメッシュ柵による防除 防除面積 100ha	電気柵及びワイヤーメッシュ柵による防除 防除面積 100ha	電気柵及びワイヤーメッシュ柵による防除 防除面積 100ha
サル	防除網等による防除：被害発生地の要望に応じ実施	防除網等による防除：被害発生地の要望に応じ実施	防除網等による防除：被害発生地の要望に応じ実施

シカ	100cmのワイヤーメッシュ 柵上部100cmかさ上げ	100cmのワイヤーメッシュ 柵上部100cmかさ上げ	100cmのワイヤーメッシュ 柵上部100cmかさ上げ
タヌキ、キツネ、 アナグマ、アライ グマ、ハクビシン 、イノシシ、シカ 、ヌートリア、ノ ウサギ、カモシカ 、サル	個人又は3戸以上の組織に 対する侵入防止柵資材の購 入補助 ・個人（250件） ・組織等（5件）	個人又は3戸以上の組織に 対する侵入防止柵資材の購 入補助 ・個人（180件） ・組織等（5件）	個人又は3戸以上の組織に 対する侵入防止柵資材の購 入補助 ・個人（110件） ・組織等（5件）

(2) その他被害防除に関する取組

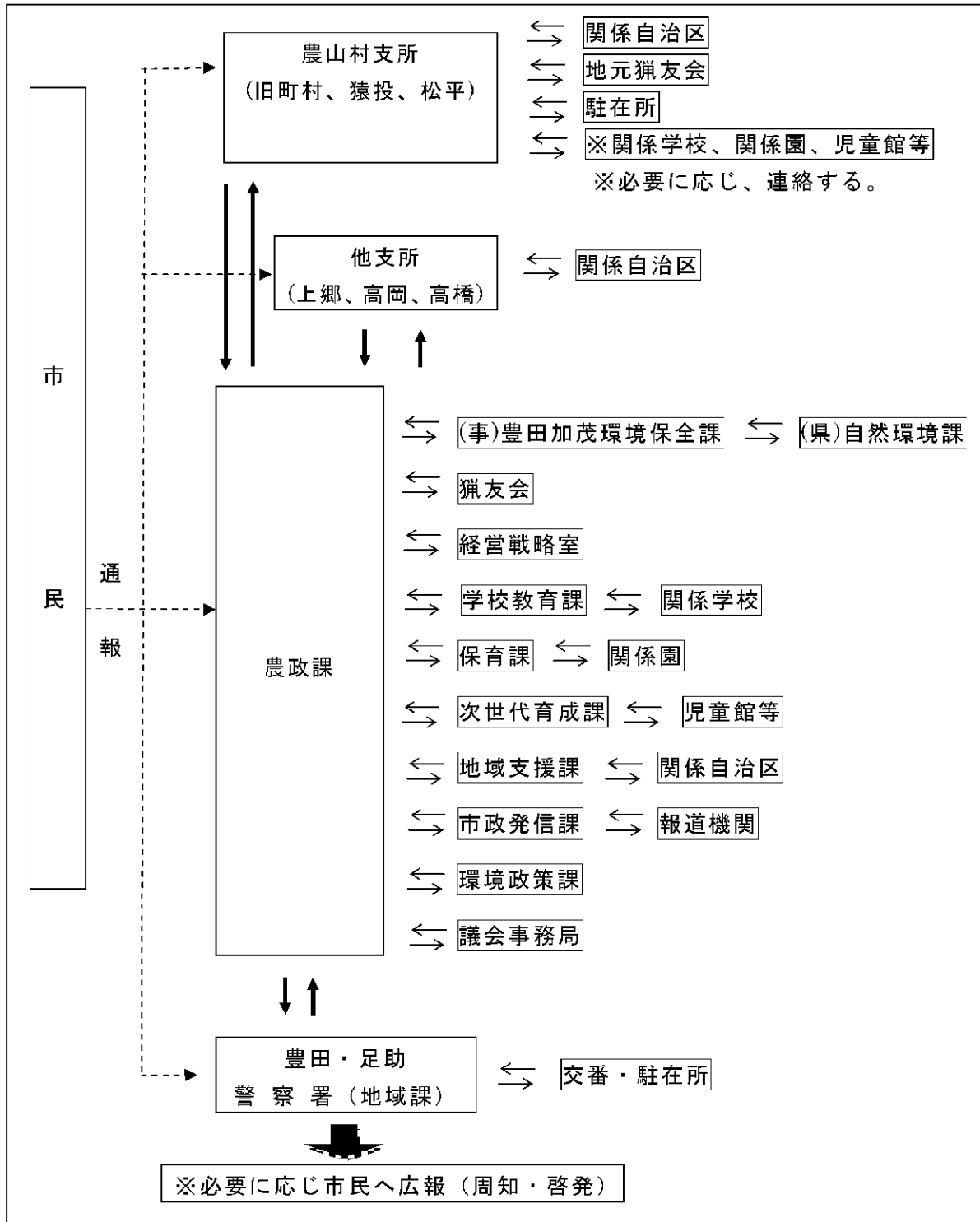
年度	対象鳥獣	取組内容
26	タヌキ、キツネ、 アナグマ、アライ グマ、ハクビシ ン、イノシシ、シ カ、ヌートリア、 ノウサギ、カモシ カ、サル、カワウ、 ゴイサギ、カルガ モ、キジ、キジバ ト、ヒヨドリ、ス ズメ、ムクドリ、 カラス、カワラバ ト、ダイサギ	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣専門員による侵入防止柵の機能発揮のため、設置方法や点検・管理指導 ・緩衝帯整備（下草・藪の刈払、雑木林の伐採、放任果樹の除去等）にかかる経費の補助 ・農地や農地周辺の環境管理及びゴミステーションの適正管理を徹底するよう集落への啓発
27		<ul style="list-style-type: none"> ・センサーカメラにより撮影した野生獣の行動を分析し、獣害対策に役立つ情報として集落に発信 ・エアガンによるサルの追い払い ・市農政課、農業協同組合、県普及課職員への鳥獣に対する知識向上を図る研修会の開催
28		<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵の効果的な設置や管理方法に関する農家の知識向上を図る研修会の開催 ・研修会、先進地視察による職員等の知識向上 ・鳥獣被害アンケート調査による被害状況の把握 ・市の広報紙、ホームページを活用した情報提供 ・「豊田いのしし通信」を活用した農家への情報提供 ・集落学習会の開催支援（講師派遣、資料提供等）

5. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称		役割
豊 田 市	農政課 (総合窓口)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の取りまとめに関する事 ・旧豊田市内(猿投、松平地区を除く)における緊急の現場対応に関する事 ・愛知県、警察署との連絡調整に関する事 ・関係各課との連絡調整に関する事 ・鳥獣捕獲申請に関する事 ・鳥獣捕獲許可に関する事
	農山村支所(旧町村支所、猿投、松平支所)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の取りまとめに関する事 ・支所区域内における緊急の現場対応に関する事 ・関係自治区との連絡調整に関する事
	経営戦略室	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理上の調整に関する事(市長・副市長への情報提供を含む)
	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係学校、関係園、児童館、放課後児童クラブ等との連絡調整に関する事
	保育課	
	次世代育成課	
	地域支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係自治区との連絡調整に関する事
	他支所(上郷、高岡、高橋支所)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の取りまとめに関する事 ・関係自治区との連絡調整に関する事
	市政発信課	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関への対応に関する事 ・広報車の手配に関する事
環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・野生動植物保護の調整に関する事 	
議会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の連絡調整に関する事 	
地元猟友会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、追い払い、捕獲への協力に関する事(痕跡、個体の判別・銃器又はわなの手配・調査、追い払い、捕獲に必要な人員の確保等) 	
警察署(豊田・足助) (地域課) 交番・駐在所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の安全確保に関する事 ・交番・駐在所との連絡調整に関する事 ・必要に応じ市民への広報(周知・啓発) 	
関係自治区	<ul style="list-style-type: none"> ・自治区内の回覧、連絡網や定時放送による地元住民への注意喚起の協力に関する事 	
関係学校、関係園、児童館、放課後児童クラブ等	<ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童及び生徒の安全の確保に関する事 	

(2) 緊急時の連絡体制



6. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	豊田市農作物等鳥獣害対策連絡協議会
構成機関の名称	役割
愛知学院大学	保護管理の適正化
豊田市自然愛護協会	保護管理の適正化
愛知県西三河県民事務所 豊田加茂環境保全課	保護管理の適正化
愛知県豊田加茂農林水産事務所 農政課、農業改良普及課	技術の指導・普及、制度支援
あいち豊田農業協同組合	技術の指導・普及、制度支援
豊田森林組合	被害実態等の把握
西三河農業共済組合 豊田三好出張所	被害実態等の把握
集落代表（農事組合3組）	被害防除等の実施
豊田市猟友会	駆除実務対応
東加茂猟友会	駆除実務対応
豊田市 環境政策課、森林課、農政課	保護管理の適正化、農家支援

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
矢作川漁業協同組合	鳥獣被害の情報収集及び防除対策等の実施
巴川漁業協同組合	鳥獣被害の情報収集及び防除対策等の実施
名倉川漁業協同組合	鳥獣被害の情報収集及び防除対策等の実施
三河湖漁業協同組合	鳥獣被害の情報収集及び防除対策等の実施

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止施策を適切に実施するための、鳥獣被害対策実施隊を平成23年度内に編成 平成24年度に鳥獣専門員を2名配置

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

特になし

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

適切な処理施設での焼却、環境面等への影響の無い場所での埋設、自家消費等の食肉利用

8. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

特になし

鳥獣による被害状況（平成20～24年）

《獣類》

（単位：千円、ha）

種類	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積
タヌキ	—	—	1,603	0.34	919	0.22	104	0.06	1,076	0.29
アライグマ	407	0.12	338	0.31	4,125	0.79	1,162	0.35	630	0.16
ハクビシン	10,198	2.40	7,418	2.03	16,827	3.55	7,742	2.20	6,529	1.91
イノシシ	33,967	40.36	51,307	41.72	94,866	57.68	50,064	42.57	50,072	33.98
シカ	1,646	1.85	1,066	0.66	1,944	2.19	2,056	1.20	2,598	1.20
ヌートリア	931	0.17	1,858	0.62	1,475	1.18	1,463	1.57	375	0.37
カモシカ	58	0.14	19	0.02	1,070	0.42	623	0.39	238	0.16
サル	286	0.19	339	0.12	875	0.38	886	0.25	634	0.33
その他獣類	88	1.28	100	0.84	225	1.22	499	2.71	514	3.09
計	47,581	46.51	64,048	46.66	122,326	67.63	64,599	51.30	62,666	41.49

《鳥類》

（単位：千円、ha）

種類	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積
カルガモ	167	0.17	1,221	1.27	675	0.70	293	0.29	164	0.16
ハト	2,164	1.52	3,838	7.51	418	0.58	993	1.39	227	0.48
ヒヨドリ	2,911	2.76	4,044	0.68	8,050	1.38	1,860	0.48	2,625	0.75
スズメ	10,453	10.83	7,911	7.11	10,070	10.64	3,529	4.06	4,719	5.47
ムクドリ	2,216	2.77	5,960	0.79	3,897	0.46	2,262	0.41	597	0.17
カラス	13,708	7.88	17,738	4.60	27,553	6.55	16,852	4.19	17,481	4.90
その他鳥類	524	0.87	4,140	0.63	2,168	1.17	845	0.62	1,985	0.33
計	32,143	26.80	44,852	22.59	52,831	21.48	26,634	11.44	27,798	12.26

《合計》

（単位：円、ha）

	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額
合計	79,724	73.31	108,900	69.25	175,157	89.11	91,233	62.74	90,464	53.75

鳥獣の捕獲状況（平成20～24年）

《獣類》

（単位：羽）

種類	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟
タヌキ	9	—	11	—	38	—	43	—	142	—
キツネ	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
アナグマ	—	—	—	—	—	—	11	—	28	—
アライグマ	6	—	15	—	30	—	48	—	89	—
ハクビシン	27	—	17	—	66	—	63	—	146	—
イノシシ	799	818	956	872	2,223	1,640	1,838	888	2,557	773
シカ	6	28	15	52	15	31	16	59	20	54
ヌートリア	29	—	14	—	4	—	2	—	10	—
ノウサギ	1	—	1	—	1	—	1	—	3	—
サル	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—

《鳥類》

（単位：頭、羽）

種類	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟	駆除	狩猟
カワウ	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—
カルガモ	9	—	26	—	18	—	27	—	37	—
キジ	—	—	—	—	—	—	10	—	9	—
キジバト	151	—	171	—	208	—	371	—	583	—
ヒヨドリ	168	—	169	—	159	—	133	—	698	—
スズメ	485	—	945	—	296	—	433	—	284	—
ムクドリ	236	—	114	—	63	—	127	—	374	—
カラス	848	—	1,111	—	1,085	—	1,230	—	974	—
カワラバト	174	—	183	—	146	—	276	—	247	—
ダイサギ	—	—	—	—	—	—	6	—	10	—
アオサギ	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—